

8.11 7万人が参加 県民大会

台風影響下の雨の中



雨にも負けず7万人が参加した8.11 県民大会

翁長知事の遺志を継ぎ

辺野古新基地阻止を誓う

「土砂投入を許さない！ジュゴン・サンゴを守り、辺野古新基地建設断念を求める8・11県民大会」が、那覇市の奥武山陸上競技場で開催され、

当初予定の3万人を大きく上回る7万人が参加しました。

8日に翁長知事が亡くなり、その直後の大会ということもあり、台風の影響で激しい雨が降る中、万余の人が続々と会場に足を運び、「翁長知事の遺志を受け継ぎ、辺野古に新基地は絶対に造らせない」との思いを固めました。

登壇者の皆さんも、翁長知事が辺野古新基地阻止のために命を削って闘いぬいたご苦労に感謝しつつ「知事の思いを無駄にすることなく、新基地建設阻止まで闘い抜くとの決意を述べていました。

大会では「辺野古・大浦湾の美ら海に新たな基地を造ら

せない。県民の命とくらし、沖縄の地方自治と日本の民主主義と平和を守るためこの不条理に抗い続ける」との宣言を採択しました。

本会の多くの会員が各市町村の島ぐるみ会議のバスを利用したり、家族ずれで参加をしていました。大会には日退教の松淵事務局次長も参加し、共に行動してくれました。

県民投票署名

10万筆を超える

名護市辺野古の新基地建設の賛否を問う署名が10万筆を超え、県民投票条例制定の直接請求に必要な2万3千筆を大幅に上回りました。本会も6月19日の第2回理事会で(1)県民投票成功のために取り組む(2)各市町村で連携して取り組むことを確認し、受任者を引き受けたりして署名活動に加わりました。

県知事選・那覇市長選・宜野湾市長選

絶対に負けられない選挙

県知事選 9月30日(日)

翁長知事の思いを無にせず

翁長知事急逝後の大事な、大事な県知事選挙の投票日が9月30日(日)と決まりました。那覇市長選挙は10月、宜野湾市長選挙は県知事選挙と同じになりそうです(8月19日現在)

翁長知事の遺志を引き継ぐオール沖縄サイドの候補は、那覇市長選挙は現職の城間市長の可能性が高いが、県知事選、宜野湾市長選の候補者は9月19日現在まだ決まっています。

候補者が確定し次第、翁長知事の思いを無にしないために、会員一人一人が全力を尽くして全員の勝利を勝ち取りましょう。

家族・親戚・友人・知人票を ガッチリ固めよう

地域の事務所に足を運び 積極的に活動しよう

沖国大へり墜落14年
抗議集会開く

普天間基地所属のへりが沖縄国際大学に墜落してから8月13日で14年となることから島ぐるみ会議・宜野湾などの団体が「沖国大へり墜落から14年抗議集会」を宜野湾市役所前広場で開催し、約100人が参加しました。事故から14年経っても米軍機が市街地上空を飛び交う状況に怒りの声をあげ、普天間飛行場の閉鎖や辺野古新基地建設の中止等を求めました。

会場では「宜野湾市平和な空を守る条例」制定請願の会の署名活動も行われましたが、本会も同会の賛同団体となつて共に活動しています。署名活動は8月30日まで。協力できる人は下記まで連絡ください。

問合せ先☎電話 090-4515-7294 (宮城)

大阪府退教・九条を誇りにする会

7回目の沖縄FW

3日目は辺野古行動

大阪府退教・憲法9条を誇りにする会の7回目の沖縄フィールドワークが5月25日から2泊3日の日程で、47人が参加して実施されました。沖退教から石川元平さんと平安事務局長が案内役を務めました。1日目は那覇空港から読谷村に向かい、金城実さんのアトリエを訪ね講話を聴いた後、文化センターへ移動して山内徳信さんの講演に耳を傾け、「屋良朝苗氏の像」や「9条の碑」を見学した後、



7回目の沖縄フィールドワークに参加した大阪の皆さん



平和への強い思いを語る謝花悦子さん

座喜味城跡にオープンしたばかりの「ユンタンザミュージアム」を見学して名護市の宿泊ホテルに向かいました。ホテルでは沖退教・高退教を交えての交流会がもたれました。



隊列を組んでゲート前に行進する大阪の皆さん

2日目は伊江島に渡り島内見学の後、「わびあいの里ヌチドウタカラの家」で浦崎悦子さんの年齢を感じさせない平和への強い語りに感動しました。

3日目は辺野古キャンプシユワブゲート前での座り込み行動に参加。移動中のバスの中で参加者全員が一人ずつ新基地建设阻止の思いを述べ合い、下車後用意してあった横幕のぼりを持ち、隊列を組んでゲート前まで行進し、合流しました。その場で長年大阪の地で辺野古問題を訴え続

けている大森正子さんがマイクを握って力強くシュプレヒコールをリードし、参加者に大きな勇気を与えました。府退教・誇りにする会からカンパの手交もありました。

夜間中学支援継続 県議会が採択

県教育委員会が珊瑚舎スコール夜間中学校への補助を2017年度で打ち切るとの報道を受け、本会は看過できない問題だとして行動を起こしました。

5月23日に珊瑚舎スコール夜間中学校への支援継続を求め、要請・陳情行動を県教育委員会・県議会に対して行ってきました(詳しい経過は本紙第32号に掲載)が、このほど県議会議事務局から本会に対して、「陳情書採択」の連絡がありました。